

たすけあい

認定 NPO 法人 中原たすけあいの会 No. 38 号 令和 2 年 6 月

活動休止の予告

外出支援活動サービス（福祉有償運送・無償運送「もやい号」）を利用させていただいている会員の皆様に感謝申し上げます。

今は、地域社会が新型コロナウイルスの蔓延で混乱しております。当会の活動も感染予防に努めて、日常生活にどうしても必要な外出に限りサービス活動を継続しております。

さて、当会は平成 9 年に活動を開始して、これまで 24 年を経過いたします。これまで、外出支援活動を始め、介護保険事業も含め、地域で生活するために必要なサービスで、私たちにできることを積極的にとり扱ってまいりました。

その結果、令和元年度の活動実績は、外出支援等 121 名の方々に年間延べ 8,581 名へのサービスを提供してまいりました。

しかし、現在運転ボランティアの不足と高齢化並びに財政運営上の課題を抱えております。

このまま無理に活動を継続すれば会員の皆様に安心して安全なサービスが提供できなくなる恐れがあります。

そこで、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、令和 2 年度末（令和 3 年 3 月 31 日）をもって活動を止めることにいたします。

特に利用会員の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけすることとなりますが、現状をご理解いただきますようお願い申し上げます。

今後の外出の足の確保につきましては、早めにご家族との相談等ご検討いただくようお願い申し上げます。

なお、令和 3 年 3 月 31 日までは、今まで通り責任をもって活動してまいりますことを申し添えます。

（平野）



会員数・活動内容

会員数

(単位：人)

	実 績		計 画
	令和元年度	平成 30 年度	令和 2 年度
正会員	110	117	50
運営会員	19	22	15
賛助会員	1	1	1
計	130	140	66

(注) 会費納入者のみ計上

活動内容

ふれあい・たすけあい活動

	実 績		計 画
	令和元年度	平成 30 年度	令和 2 年度
外出支援(延べ人数)	6,340	6,000	3,100
内訳	福祉有償	1,956	2,400
	もやい号(無償)	4,384	3,600
生活支援	719	58	2,400
居場所(生きがいデイ)	1,522		800

居場所「もやい」の様子



クリスマス会



食事風景



1月 お茶会



令和元年度決算並びに令和2年度計画概要

(単位：円)

	決 算 額		計画額
	令和元年度	平成 30 年度	令和 2 年度
入会金・会費	214,000	230,000	98,000
寄付金	884,400	766,184	250,000
たすけあい活動収入	2,351,900	2,278,400	1,370,000
その他収入	105,848	371,479	51,000
収益計	3,556,148	3,646,063	1,769,000
人件費	3,150,647	2,864,869	3,016,800
その他	3,706,557	3,894,492	3,338,466
費用計	6,857,204	6,759,361	6,355,266
収支差引	△3,301,056	△3,113,298	△4,586,266

※人件費には、ボランティアに対する謝礼金を含む。

たすけあい活動収入（内訳）

単位：円

	決 算 額		計画数
	令和元年度	平成 30 年度	令和 2 年度
福祉有償運送	1,682,910	1,839,700	1,000,000
もやい号	431,200	355,200	200,000
生活支援	15,190	83,500	50,000
居場所 (生きがいデイ)	222,600		120,000
計	2,351,900	2,278,400	1,370,000

・皆様からの寄付金については、たすけあい活動資金に充当させていただきました。

平成 27 年度から赤字経営となっており、特に平成 28 年度からは、「たすけあい活動」のみの経営であり、黒字転換は厳しい状況であります。

コロナ対策

コロナに侵略されそうな地球（地域社会）

只今、新型コロナウイルス蔓延で社会が動かなくなっています。

全国 47 都道府県に「緊急事態宣言」が発令され、外出自粛、休業要請等市民社会活動がマヒし、経済危機に至っており、先が見えない厳しい現状であります。大規模大会の軒並み中止、学校の長期休学、高校球児が夢見て頑張ってきた夏の甲子園大会、さらには来年度に延期されているオリンピックの開催等不安要因が増幅しています。

その対策として政府においては、専門家をメンバーとする「諮問委員会」を設置しこれからの対応策を探っております。また、全国民に一律 10 万円の給付金等大型補正予算措置等々矢継ぎ早に打ちだされていますが、効果は未だに見えてきません。

一方、私たち国民一人一人が感染予防に取り組まないと解決しない問題であるにも関わらず国民への情報提供は、あまりにも専門的な言葉を駆使した内容で、理解できません。

例えば、「クラスターやスーパースプレッダーが原因でオーバーシュートになるから、パンデミックになる前にロックダウンしないと・・・」と言われても、死亡率が一番高いと言われている私たち高齢者には、そのひっ迫度合いが理解できません。

しかし、緊急事態宣言の今は、理解できないままに何となく不安になり自粛している現状であり、多分必要以上の自粛を強いられているような気もしないではありません。

よく「三密を回避しなさい」と言われています。三密とは ①密閉空間

②密集場所 ③密接場面のことですが、三密を避けるためには、人との接触を 7~8 割減らす必要があるそうです。その根拠は、コロナウイルスの感染率は 1 人から平均 2.5 人に感染するそうです。8 割減らすには、2.5 人 (100%) を 0.5 人 (20%) に減らさなければなりません。感染率が 1 (100%) 以上であれば感染が拡大し、1 以下であれば感染は縮小することになります。0.5 にできれば当然感染は急激に減少することとなります。そのために皆接触の機会を減らしましょう。ということになります。

全国一律の緊急事態宣言は解除されましたが、問題はこれからです。新型コロナウイルスは急性期の蔓延は回避できたようですが、世の中から完全に消滅したわけではありません。これから第 2 波、第 3 波が来るでしょうし、これからはこのウイルスと上手に付き合いながら生活していかなければなりません。

今回の経験を踏まえ、これまでの経済至上主義で積み上げられた現代社会のメリット・デメリットを分析し、これからの新しい社会のありようを考えていくきっかけにしなければなりません。

国からは「新しい社会様式」が提案されていますが、その前提条件は3密をいかに回避できるかだと思います。今までは緊急避難的に短期間実行すればよかったので、根拠は不明確でも国民は自粛要請についてきたと思いますが、これからは、終わりのない新しい生活スタイルとして定着させなければなりません。その実現のためには、国民に科学的根拠に基づいた説明をし、国民の理解と納得を得なければ、その実現は不可能だと思います。国民が実行しなければならないのですから、国が専門家の意見を聞いて国民に解かりやすく説明し、国民が納得したうえで行動できるようにしなければなりません。

外出自粛の必要性を私たち一人一人が科学的根拠を基に十分理解し、責任をもって感染予防に努めなければなりません。とにかく今は我慢の時だと思います。皆で支え合って頑張りましょう。

(参考)

クラスター ⇒小規模な患者の集団 スーパースプレッダー ⇒感染者が通常考えられる(2.5人)以上の数の2次感染を引き起こす場合 オーバーシュート ⇒爆発的な感染拡大、患者の急増 パンデミック ⇒世界的な大流行 ロックダウン ⇒都市封鎖(社会活動・集会の禁止、休校、海外渡航の禁止、外出禁止などを行って感染症拡大の防止を行う措置) これを参考にして上記の文章を読んでみてください。



会の動き (R元・9・1～R2/4/22)

- 09/04 大分県日田市から古賀氏視察
11 安全運転管理者講習会 (鳥栖市 古賀)
19 風の町中原役員 (2層協議会) 意見交換
24 NPO法人とっこいクラブ講師
- 10/29 地域公共交通確保維持改善協議会勉強会
- 11/01 車両事故「物損」(久留米市内)
13 福岡市西区元岡校区活動内容調査 (全国移動ネット)
22 水道工事 (井戸から町水道へ切り替え)
25 消防設備点検
27 佐賀市「おたっしや本舗三瀬」から7名視察
- 12/18 理事会 (R1決算見込み、事業廃止関連打ち合わせ等)
26 みやき町長面会 (事業廃止予定の報告)
- 令和 2/1/11 セミナーin 日田
31 事業廃止に伴う事務手続打ち合わせ
(会計広報センター、県民協働課)
- 2/19 理事会 (R2事業計画並びに活動計算書案)
- 3/2 運営協議会事前打合わせ (みやき町庁舎)
9 理事変更届 (飯塚誠一死亡)
18 新型コロナウイルスにより居場所閉鎖
26 福祉有償運送更新登録申請 (3/27 登録証到達)
- 4/5 臨時理事会 (新型コロナウイルス対応策検討)
- 6～7 新型コロナウイルスの蔓延に伴う不要不急の外出自粛、
感染予防の徹底文書発行
佐賀県へ福祉有償運送実績報告書提出
- 16 監査
- 20 理事会
第1号議案 令和元年度事業報告並びに活動計算書
第2号議案 サービス活動の廃止について
第3号議案 理事の新任について (前山基次氏)
- 協議事項
① 総会を中止して書面表決
② サービス活動の廃止に向けて
・ R2年度は新規会員は募集しない
・ 活動休止の予告文書発行
- 21 活動休止の予告文書発行
(関係団体・会員等約500通)
- 22 県へNPO実績報告書提出

編集後記

「緊急事態宣言」で外出の自粛要請がなされましたが、私たちは日常生活において、具体的にどのような不便が生じたのでしょうか。通常の生活とあまり変わらない生活ができたように感じます。

例えば、買い物に行く回数が減っても、冷蔵庫の中を見るといくばくかの食材があり、夕食を作るのに支障はありません。外出の回数を今までより減らし時間ができたら、室内外でできることを考えれば時間を持て余すこともありませんし、かえって豊かな生活環境が整備されることも期待できます。

逆に、今の世の中があまりにも、経済中心で、私たち消費者が必要以上にあおられ、そのためにあくせくと働いているのではないのでしょうか。この際「豊かさとは何か」を考える良い機会でもあり、コロナ対応で生じた良い変化を生かす「ポストコロナ」(コロナ後)社会を模索する機会でもあると思います。

(S)



佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀 6706-2
認定特定非営利活動法人中原たすけあいの会
TEL : 0942-94-9107 FAX : 0942-94-9108
Email アドレス moyai-2@poppy.ocn.ne.jp
URL <http://nakabarutasukeai.jimdo.com/>